

ハイボン 90 モイスタック A

□ 規 格
□ 一 般 名 称
□ 特 長

国土交通省 機械工事塗装要領（案）・同解説（令和3年2月版） 日本ペイント規格
超厚膜形エポキシ樹脂塗料
・ハイソリッドタイプで厚膜に塗装できます。
・可とう性を有し、内部応力が小さくすぐれた付着性を示します。
・厚膜塗装によって外部からの腐食性物質の侵入を防ぎます。

□ 塗 料 性 状

		塗料液	硬化剤
色		グレー、ライトグレー	褐色
密度(g/cm ³)(23℃)		1.53 (混合塗料) 1.64 (塗料液) 0.99 (硬化剤)	
光 沢		半つや	
引 火 点		24	24
発 火 点		430 (参考値)	430 (参考値)
消 防 法 表 示	化 学 名	合成樹脂エナメル塗料	合成樹脂クリアー塗料
	危険物区分	第4類 第2石油類(非水溶性)	第4類 第2石油類(非水溶性)
	危険物等級	III (火気厳禁)	III (火気厳禁)
有 機 溶 剤 区 分		第2種	第2種
毒 劇 物 表 示		-	-
有 害 物 表 示		エチルベンゼン エポキシ樹脂	エチルベンゼン 3 - (アミノメチル) ベンジルアミン 変性脂肪族ポリアミン
国 連 / 指 針 番 号		1263/128	1866/128
環 境 性 能	ケルシン	配合せず 11.7%	配合せず
	スレン(モノマー)	配合せず	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	配合せず
	フェノール	配合せず	配合せず
T V O C		18.2%	

・加熱残分(%) : 82 (混合塗料) 85 (塗料液) 51 (硬化剤)

□ 塗 装 基 準
下 地 調 整 :
混 合 :
荷 姿 :
ポットライフ :
希 釈 剤 :
塗 装 方 法 :

・被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油そのほかの異質物を清掃し、清浄ケレンしてください。
2液形のため、「塗料液：硬化剤 = 90 : 10 (重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
20kgセット(塗料液:硬化剤=18kg:2kg)
6時間(23℃)
ハイボンエポキシナー[一般用]、ハイボンエポキシナー-W[冬用]

塗 装 方 法	スプレー	はけ塗り
希 釈 率	0 ~ 10%	0 ~ 5%
使 用 量	1.30kg/m ² /回	0.50kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	300μm	150μm
膜厚(ウェット)	460μm	230μm/回

・上記各数値は、施主基準書に準拠したものであり、被塗物の形状や気象条件等で各数値は増減することがあります。
施主基準書に従って塗装してください。

乾 燥 時 間 :

	5	23	30
指 触 乾 燥	16時間	5時間	3時間
半 硬 化 乾 燥	24時間	10時間	5時間
塗 り 重 ね 乾 燥	2日以上10日以内	1日以上10日以内	1日以上7日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。
・塗り重ね乾燥時間は、施主基準書に定められた数値となっております。気象条件や被塗物の状態によって、その値に変動がありますので、塗膜状態を確認してから塗り重ねをするようにしてください。

□ 注 意 事 項

- ・下地調整など塗装基準の詳細については、各施主様の指針書をご参照願います。
 - ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
 - ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。